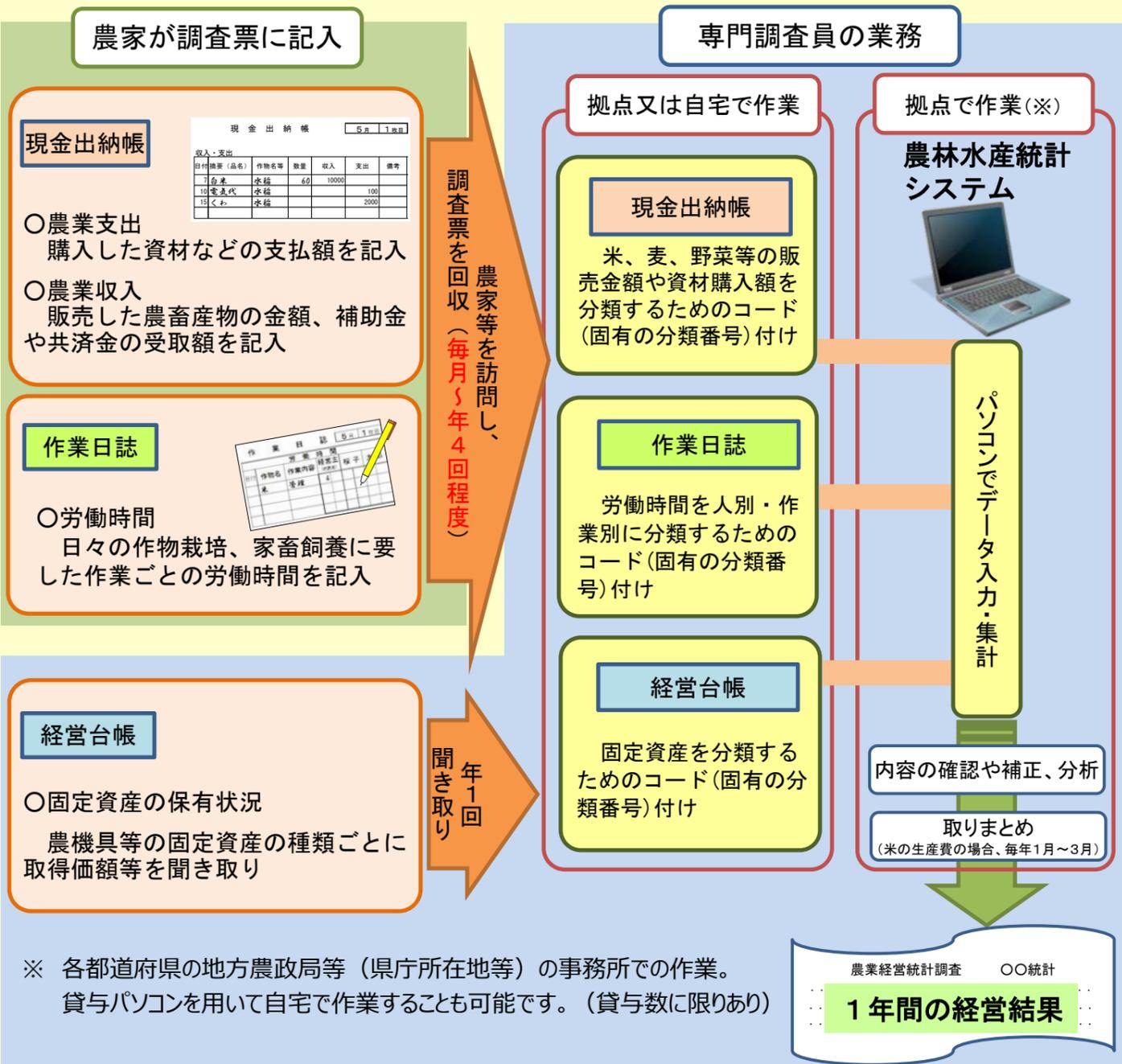


経営統計の業務 ~農林漁家等の収支や投下労働時間等を把握~

定期的に農家等を訪問して調査票の回収・チェック、聞き取りを行い、米等の販売収入や肥料費等の支出など農業収支について項目別に分類しパソコンで入力・集計する業務です。目標として7農家を担当します。



※ 各都道府県の地方農政局等(県庁所在地等)の事務所での作業。貸与パソコンを用いて自宅で作業することも可能です。(貸与数に限りあり)

報酬(1農家当たり)及び平均的な作業時間(例)

農家の年間収支を調べる調査	: 約17.0万円(約137時間)
農産物(米、麦等)の生産費調査	: 約13.4万円(約108時間)
畜産物(牛乳、牛、豚)の生産費調査	: 約21.6万円(約174時間)
組織経営体の年間収支を調べる調査	: 約13.6万円(約109時間)
漁業経営体の年間収支を調べる調査	: 約6.4万円(約52時間)

生産統計の業務 ~田や畑に向いて、農作物の生産状況等を把握~

田や畑に作付けされている農作物(水稻、野菜、果樹等)の作付面積、生育・被害状況の把握、サンプルの収穫作業などを行い、その結果を調査票に記入し、提出する業務です。目標として延べ400調査区画等を担当します。

水稻の穂数・もみ数等の実測

- 調査時期
年間3回程度(基本として8月、9月、10月)
- 業務内容
1枚の水田の中の3か所においてうね幅、株間、草丈、茎数、穂数、もみ数等の計測



水稻の刈取調査

- 調査時期
農家が刈り取る直前
- 業務内容
・1枚の水田において約60株の刈取り、脱穀
・脱穀したもみの重量計測
・1枚の水田の被害発生量の見積り
・周辺の水田の作柄、被害状況の見積り



畑作物、果樹の収穫量・被害量の実測

- 調査時期
農家が収穫する直前
- 業務内容
(対象作物によって異なる)
・株の間隔等の計測
・農作物の刈取り、掘取り又はもぎ取り
・収穫した農作物の重量計測
・1枚の畑(園地)の被害発生状況の見積り



農地の状況の把握

- 調査時期
原則として6月~8月
- 業務内容
調査区画内にある農地について農地転用、災害からの復旧、荒廃農地の発生・解消状況等の確認



道路転用

畑作物・野菜・果樹等の作付面積、生育状況等の把握

- 調査時期
作付面積: 基本年間4回(原則2月、5月、8月、11月)
生育状況等: 基本として毎月
- 業務内容
・調査区画内にある畑(園地)に作付けされている農作物名及びその面積の確認
・調査区画内にある農地に作付けされている農作物の作柄及び被害発生状況の確認



レタスの作付

水稻の被害発生状況等の把握

- 調査時期
指定する時期
- 業務内容
・調査区画内にある水田において田植え・出穂・刈取りの状況、作柄及び被害状況の確認
・調査区画内において被害が発生した水田の被害面積及び被害発生量の確認



倒伏被害

報酬(1調査区画当たり)及び平均的な作業時間(例)

水稻の穂数・もみ数の実測	: 約3.1千円(約2.5時間)
水稻の刈取調査(周辺の水田の見積りを含む。)	: 約5.2千円(約4.1時間)
畑作物・野菜・果樹等の作付面積の把握	: 約2.3千円(約1.9時間)
畑作物・野菜・果樹等の作柄の把握	: 約2.6千円(約2.0時間)